

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
1	小林 優子 市川 憂樹 橋口 まりこ 木村 美保子 永沢 由佳 元木 和泉 佐伯 英志	自校作成テキスト 地域企業からの補助教材等
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会の変化に対応するために、企業連携を通じた探究の過程において、課題発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、社会の変化のなかで学び続ける意欲と態度を理解する。 2. 将来の進路を見据えるために、企業人との体験的な活動を通して、情報収集や整理・分析を粘り強く行い、他者に対して、まとめ・表現を的確に伝える社会に必要な力を身に付ける。 3. 地域の抱える課題の解決に向けた探究活動に、主体的・協働的に取り組むとともに、互いに切磋琢磨することに喜びを見いだせる逞しさと、心身の健康管理ができることを考え、主体的に参画しようとする態度を養う。

◆主な学習内容・方法

<ol style="list-style-type: none"> 1. 本校が作成したテキストに基づいて、課題解決のために必要な方法を学習する。 2. 企業と連携した探究活動を学習する。 3. 企業人講話から、実社会で求められる人物像と高校生活で身につける必要がある力を学習する。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

<ol style="list-style-type: none"> 1. 事象を科学的に見る力、論理的思考力、論理的記述力が身に付く。 2. 質問する力が身に付く。 3. デスカッションする力が身に付く。 <p>〔観点別評価の評価規準〕</p> <p>○知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが設定する課題とその課題を解決するための方策をつくることができる。 ・企業連携での体験的な活動等を通じた情報収集を含め、複数の方法で情報収集ができる。 ・企業等との探究の積み重ねが、将来の学びや進路選択につながることに気づく。 <p>○思考・判断・表現等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の取組や効果等から得た知識を生かして、社会に貢献するための計画を立てる。 ・体験的な活動等を通して、取組内容や関係する様々な人の考えを適切な手段で収集する。 ・自ら得た情報に加えて、企業の取組と比較しながら、取組のよさや改善点等を検討する。 ・情報の収集、整理・分析を通して得た考えを、他者を意識して表現する。 <p>○学びに向かう力・人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの興味・関心を自覚するとともに、他者の多様な思いや考えを知り、他者を尊重して生かそうとする。 ・企業における体験的な学びを通して、協働的に取り組むことの意義を自覚し、主体的に他者に関わろうとする。 ・自らが地域社会や企業の担い手として、地域社会に何ができるかを考え、進路選択に活用する。

◆年間予定授業時間

予定時数	35 時間	1 学期 (13 時間)	2 学期 (14 時間)	3 学期 (8 時間)
------	-------	---------------	---------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

予習	授業で扱う学習内容に取り組み、授業のテーマに即した取り組みとなるように、自らの考え方をまとめる。
復習	授業のテーマに対して、他者やグループの意見を振り返ることで、学習内容をまとめる。
宿題・課題	授業において、課題の進捗状況をもとに、他者やグループ毎で宿題や課題を決めて、見通しを立てた学習にする。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	・オリエンテーション	5 4 4	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間に対する取り組み方、学習計画、到達目標の理解 地図を文章で説明しよう マインドマップ KJ法 自分の意見を作ろう 東京都女性活躍社会講話 社会課題、テーマ検討 	<ul style="list-style-type: none"> 他者からの情報収集をもとに地図を作成し、文章で地図を説明できる。 マインドマップを活用して、研究対象や研究方法等を決めることができる。 ブレインストーミングとKJ法を用いて整理することができる。 クリティカルシンキングや英語の論理的構造を活用して、自分の意見を根拠立て説明できる。 グループで資料の分析をして発表し、他者からの質問に対して、根拠に基づいた説明ができる。 女性が社会で活躍することを学び、研究の方向を深めることができる。
	5	・演習			
	6	・講話			
	7				
2 学期	8	・テーマ研究	10 4	<ul style="list-style-type: none"> 企業の課題研究に挑戦しよう 研究テーマと研究計画書提出 パワーポイント、ポスター作成開始 研究テーマ パワーポイント、ポスター作成 研究テーマ 中間発表 研究テーマ パワーポイント 研究テーマ 研究発表、研究発表論文 	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマと研究計画書を作成し、研究に取り組むことができる。 研究テーマの中間発表、研究テーマの発表の2つを目標とする。授業を進めるなかで、目標に向けて、グループ毎に、授業と授業外時間での役割分担を確立することができる。 研究テーマの中間発表で、グループ毎に発表し、発表の課題や改善点を把握することができる。 真の解くべき問いを創ろう、をテーマに、デザイン思考ができる。 中間発表での改善を反映させた研究発表ができる。また、研究発表論文を作成することができる。
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	・テーマ研究 ・キャリア教育	4	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表論文集作成 研究発表論文総括 キャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表論文集を作成することができる。 自らや他者の研究発表論文を振り返ることで、研究を深めることができる。 探究活動を通じた研究を、自己の在り方・生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けることができる。
	2		4		
	3				